

全国企業倒産集計 2023年2月報 別紙号外レポート

倒産急増、14年ぶりの規模

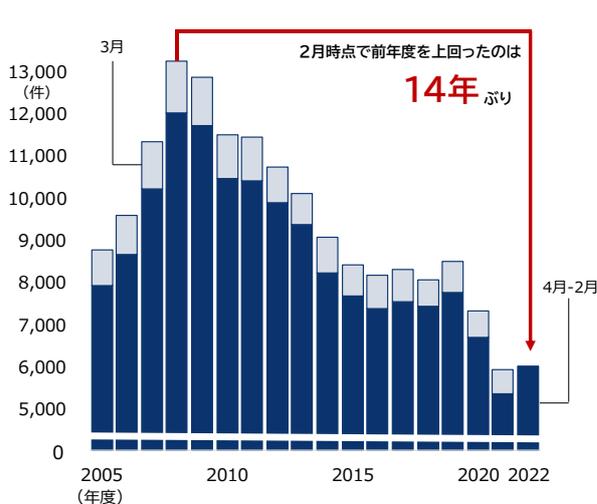
「リーマン前夜」と情勢酷似

原材料高、与信厳格化など共通点多く

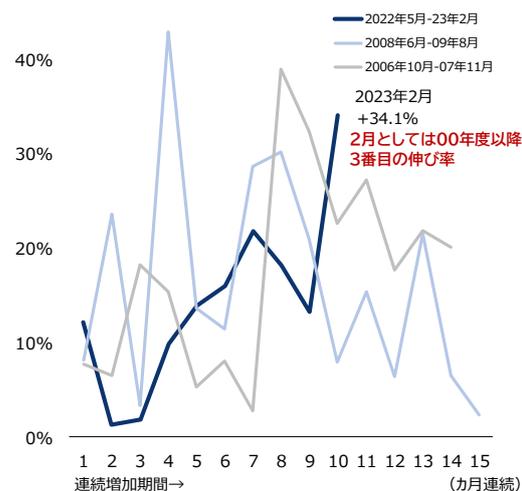
2023年2月の企業倒産は前年同月比34.1%増の574件が発生し、10カ月連続で前年同月を上回った。この増加期間は、08年のリーマン・ショック後で最長を記録し、30%超の増加は、法的整理の滞留からの反動増となった21年5月を除けばコロナ禍後で初めてとなる。倒産件数は、600件台だったコロナ禍前の水準に戻りつつあり、22年5月を転換点として増加傾向が強まっている。

こうした増加を背景に、2022年度は2月までの11カ月累計で既に前年度(5916件)を上回り、3年ぶりの増加が確定した。2月時点で前年度を上回るのは、リーマン・ショック前後の2007-08年度以来、14年ぶりとなる。07-08年度当時は、米国サブプライムローン問題に端を発した経済の急減速といった要因があった。一方で、金融機関の与信厳格化や、1バレル100ドルにせまった記録的な原油高、原材料高などが重なり、製造業などで倒産が増加した時期でもあり、これらは2022年度の倒産動向と酷似する部分が多い。これらの倒産要因は足元では完全に解消されておらず、23年度にかけても倒産は増勢が続く可能性がある。

年度別倒産件数 推移



前年同月比 リーマン前後との比較

株式会社帝国データバンク 情報統括部長 かみにし とまひろ 上西 伴浩【問い合わせ先】 いいじま だいすけ 飯島 大介

03-5919-9343 (直通) 情報統括部: tdb_jyoho@mail.tdb.co.jp

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。